

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
北海道ハイテクノロジー専門学校	昭和62年12月4日	塩野 寛	〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12番1 (電話) 0123-36-8119				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人産業技術学園	昭和63年1月5日	宮川 藤一郎	〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12番1 (電話) 0123-36-8119				
目的	ホスピタリティマインドを持ったプロを目指し、患者様のみならず各医療従事者の立場を理解したスタッフの育成を目指す。さらに専門技能のみならず社会人として必要な技能・資質・接遇マナーの向上を目指し、業界から要望される人間性豊かな人材の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療分野	医療専門課程	医療ビジネス学科	平成6年文部科学大臣 告示84号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1800	540	1170	90	0	0
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80 人の内数	41 人の内数	3 人の内数	21 人の内数	24 人の内数			
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 ■3学期:		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験・平常点評価			
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:7月26日～8月22日 ■冬季:12月23日～1月10日 ■学年末:～3月31日		卒業・進級 条件	選択必修科目・自由選択科目のどれかを必ず選択し、履修することが、進級・卒業要件となり、進級・卒業認定は判定会議にて学校長が行う。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 面談・保護者との連携		課外活動	■課外活動の種類 宿泊研修・検定強化合宿・学園祭 など ■サークル活動: 有			
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 病院・診療所・調剤薬局 ■就職率 ^{※1} : 96% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 66.6% ■その他 進学率: 24.2% (平成27年度卒業者に関する 平成28年5月1日時点の情報)		主な資格・ 検定等	医療秘書技能検定 サービス接遇検定 医事コンピュータ技能検定 など			
中途退学 の現状	■中途退学者 2名(他2名転科) ■中退率 3.4% 平成27年4月1日時点において、在学者59名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者56名(平成28年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 サポートアンケート・面談・保護者との連携などにより学校全体で中途退学0%への取り組みを行っている。						
ホームページ	URL: http://www.hht.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療機関の求める知識・技術を教育課程に反映できるように業界の動向に関して情報交換を行う。また医療機関などからの情報によりカリキュラムを作成し最新の医療情勢に即した教育が実践できるよう、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を定期的に行う。さらに、専門的な知識だけではなく、業界が求める人物像であるコミュニケーション力などの人間力を合わせ持つ専門職を養成するカリキュラムを編成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員は、教育課程の編成において医療機関の意見を活かし医療事務ならびに調剤薬局事務等の教育に必要な医療制度、医薬知識、職業人のあり方などを反映するための連携体制を行う期間として活動する。委員会において、職業教育の水準の維持向上を図り、実践的な職業人教育を行うために、教育課程の改善および改定を定期的実施する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥山 恒夫	株式会社 恵庭リサーチ・ビジネスパーク 代表取締役社長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
八木 康之	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北海道センター所長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
西村 浩樹	株式会社ホクドー営業部 部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
前仲 勝実	北海道大学大学院薬学研究院 生体分子機能学研究室 教授	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
菅原 直臣	NPO法人北広島ITネットワーク 理事長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
藤浦 将輝	株式会社ナスカコンピュータ システムエンジニア	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
前田 元照	札幌市私立幼稚園連合会 会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
若林 尚子	恵庭市なのはな保育園 園長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
清水 敏博	医療法人社団慶心堂介護付有料老人ホーム「アユルス恵み野」施設長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
石本 良之	一般社団法人 医療秘書教育全国協議会 事務局長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
藤本 尚之	医療法人社団 尾形病院 事務長	2016.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
足立 晋	医療法人北農会 恵み野病院 事務長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
大橋 由美子	公益社団法人 北海道看護協会 札幌第三支部長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
佐藤 真理	医療法人北農会 恵み野病院 看護部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
蔵重 勉	特定医療法人 修道会 本田記念病院 看護部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 代表理事	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
高橋 順一郎	医療法人社団 愛心館 理事長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
瀧川 裕子	一般社団法人 北海道歯科衛生士会 副会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
尾島 玲子	医療法人社団 尾島歯科医院 理事	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
中川 喬	北海道公立大学法人札幌医科大学 名誉教授	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
畑中 孝輔	日本赤十字社 北見赤十字病院 眼科検査課 課長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
安田 義幸	株式会社 馬場義肢製作所 代表取締役	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
柏崎 力ネ	有限会社 三愛義肢製作所 代表取締役	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
相馬 充晴	一般社団法人 日本義肢協会 北海道支部長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
真下 泰	公益社団法人 日本臨床工学技士会 副会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 臨床工学技士 主任	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回開催。

(開催日時)

平成28年2月5日 15:00～17:00 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7会議室
 平成28年7月8日 15:00～17:00 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7会議室
 平成29年2月15日 15:00～17:00 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7会議室(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員の意見を受け、病院実習後に振り返り及び実習内容を報告する場を設け理解を深める。また、報告会で下級生も参加することにより次年度の実習の意識を高める。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床現場における業務を実践的に学ぶ

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

病院または調剤薬局において業務全般を実際の医療現場で体験的に学ぶ。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習	受付、病院業務全般の開始前から後片付けまでの業務を理解する。	市立函館病院 医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院 とよた腎泌尿器科クリニック かたおか循環器内科クリニック 他
薬局実習	受付、調剤薬局業務全般の開始前から後片付けまでの業務を理解する。	なの花薬局 8条店 なの花薬局 千歳北陽店 なの花薬局 恵庭店 北海道ファーマライズ株式会社 桔梗調剤薬局

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園および学校の担任研修、教員研修、マネジメント研修などを通じて教員としての教授力向上を図る。また、日本診療情報管理士会主催全国研修会や日本診療情報管理学会大会などに参加し、新しい診療情報管理の概念や知識・技術を修得する。

(2) 研修等の実績

- ① 専攻分野における実務に関する研修等
平成27年度 日本診療情報管理士会全国研修会への参加
平成27年度 日本医師事務作業補助研究会全国大会への参加
平成27年度 日本医療秘書学会学術大会
- ② 指導力の修得・向上のための研修等

学内の担任研修、国家試験対策研修への参加

(3) 研修等の計画

- ① 専攻分野における実務に関する研修等
第42回日本診療情報管理学会学術大会への参加
日本医師事務作業補助研究会 第6回全国大会への参加
- ② 指導力の修得・向上のための研修等
学園内の担任研修・国家試験対策研修への参加
文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会への参加

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校法人産業技術学園が設置する専修学校における教育・運営活動等の状況について、自ら行う点検及び評価の項目並びにその実施体制等について検証し、問題点を把握の上目標を明確化し、必要な支援・改善を行うことにより、教育水準の向上と質の保証を図ることが重要である。また多くの外部評価を受けることにより学校評価の精度を高め、客観性を持った評価による改善を目指したい。特に卒業生、保護者、地域住民、企業等との相互理解と連携を確立し、学校の説明責任を果たしていくよう努めることにより学校の組織力を高め地域に支えられる学校づくりに貢献したい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1-1理念・目的・育成人材像は定められているか
(2) 学校運営	2-4運営方針は定められているか 2-5事業計画は定められているか
(3) 教育活動	3-10各学科の教育目標、育成人材像はその学科に対応する業界の
(4) 学修成果	4-19就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が
(5) 学生支援	5-23就職に関する体制は整備されているか
(6) 教育環境	6-31施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている
(7) 学生の受入れ募集	7-34学生募集活動は適正に行われているか
(8) 財務	8-38中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9) 法令等の遵守	9-42法令、設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
(10) 社会貢献・地域貢献	10-46学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
(11) 国際交流	11-48グローバル人材の育成に向けた国際交流などの

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己点検自己評価については、「計画」「実践」「評価」の一連のサイクルを行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し懇談を通じての意見や要望を聴取する。聴取した内容は、学校運営に関する事項は、学内の学校長、副校長、教務部長、部署長の会議である「運営会議(定例会毎週1回)」にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行い12月には改善計画を含めた事業計画を策定する。一方教育活動については教員及び学科長で構成される学内組織である「教育改革委員会(定例会月1回開催)」にて検討し、1月には次年度カリキュラムの改定にむけての検討ならびに日々の授業運営の改善に実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院	2015.9月～ 2017.8月	卒業生
野 清美	動物科学科保護者	2015.9月～ 2017.8月	保護者
大場 真哉	帯広大谷高等学校	2015.9月～ 2017.8月	高等学校
早坂 貴敏	恵庭市市議会議員	2015.9月～ 2017.8月	近隣関係
奥山 恒夫	株式会社 恵庭リサーチ・ビジネスパーク	2015.9月～ 2017.8月	企業等委員
足立 晋	医療法人北農会 恵み野病院	2015.9月～ 2017.8月	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <https://www.hht.ac.jp/resources/pdf/abm00027340.pdf>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者に対しては、業界視点を越えた教育施設としての社会活動からの評価視点を得ることが出来るため、これらを学校教育の客観的な評価、運営での業界目線、地域目線、保護者目線、卒業生目線、そして行政目線から第三者の外部評価と意見をいただく委員会として位置づけをしている。したがって、その情報提供は、学科ごとに設けた教育課程編成委員からの教育評価や産学連携、業界連携についての報告を密に行うとともに、入学式、実習報告会、懇談会、研究発表会、学園祭、卒業式等の行事にも委員の出席をいただき、学園の生の活動の理解を得る機会を持つように心がけとともに、ホームページを通じて積極的に学校情報を発信し、学校の運営状況について知っていただく機会を持つ努力と教育施設

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	(2) 各学科等の教育
(3) 教職員	(3) 教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) 様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	(6) 学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	(10) 国際連携の状況
(11) その他	(11) その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <https://www.hht.ac.jp/resources/pdf/abm00021301.pdf>

授業科目等の概要

(医療専門課程医療ビジネス学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			講読Ⅰ	社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際の題材をもとに学習する。平常点によって評価する。	1通	30	2	○			○	○			
○			講読Ⅱ	社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際の題材をもとに学習する。平常点によって評価する。	2前	15	1	○			○	○			
○			Word	パソコンの基本操作であるWordを習得する。平常点によって評価する。	1通	60	2		○		○			○	
○			Excel基礎	Excelの基本操作を学ぶ。平常点によって評価する。	2前	30	1		○		○			○	
○			国語表現法	理論的な文章作成技法を学ぶ。平常点によって評価する。	1前	15	1	○			○			○	
○			サービス接遇	接遇における知識・技術・心を修得する。試験によって評価する。	1通	45	3	○			○			○	
○			ビジネス文書	理論的な文章作成技法を学ぶ。試験によって評価する。	1通	45	3	○			○			○	
○			ビジネスマナー	接遇における知識・技術・心を修得する。試験によって評価する。	2前	30	2	○			○			○	
○			医療法規	医療全般における法規について学ぶ。試験によって評価する。	1通	45	3	○			○			○	
○			病院管理学	医療提供システムを学ぶ。試験によって評価する。	1前	30	2	○			○			○	

(医療専門課程医療ビジネス学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医療事務論Ⅰ	診療報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	1通	##	5		○		○		○		
○			医療事務論Ⅱ	診療報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	2前		60	2		○		○		○	
○			医事コンピュータⅠ	医事コンピュータにおける医療事務・コンピュータ関連知識・レセプト作成能力を身につける。試験によって評価する。	1通	##	7		○		○		○		
○			医事コンピュータⅡ	医事コンピュータにおける医療事務・コンピュータ関連知識・レセプト作成能力を身につける。試験によって評価する。	2前		45	3		○		○		○	
○			解剖・生理学	人体のしくみ、機能、働きについて学ぶ。試験によって評価する。	1前		30	2		○		○			○
○			医療概論	医学と医療、医学の歴史、公衆衛生について学ぶ。試験によって評価する。	1前		30	1		○		○		○	○
○			人体構造・機能論	新生物の定義と悪性新生物における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	2前		30	1		○		○			○
○			臨床医学総論 -外傷学・先天異常-	先天的又は外因により発症する疾患について学ぶ。試験によって評価する。	1後		30	1		○		○		○	○
○			臨床医学各論Ⅰ -感染・寄生虫症-	感染症、寄生虫症における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	2前		30	1		○		○			○
○			臨床医学各論Ⅲ -血液・代謝・内分泌-	血液、代謝、内分泌の障害における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	1前		30	1		○		○			○
○			臨床医学各論Ⅴ -循環器・呼吸器-	循環器、呼吸器の疾患における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	1後		30	1		○		○			○

(医療専門課程医療ビジネス学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			臨床医学各論Ⅵ - 消化器・泌尿器-	消化器、泌尿器の疾患における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	1		○		○			○	
○			臨床医学各論Ⅷ - 筋骨格系-	筋肉、骨格における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	1後	30	1		○		○			○	
○			医学用語	英語表記される医学用語の根源、略語等について学ぶ。試験によって評価する。	1前	30	1		○		○			○	
○			医療管理総論	医療の成り立ちとしくみ、医療提供システムを学ぶ。試験によって評価する。	1後	30	1		○		○			○	
○			医療管理各論Ⅰ	医療サービスの提供に係る組織・運営の実態を理解する。試験によって評価する。	2前	30	1		○		○			○	
○			医療情報学	医療情報システムの理解と基礎技術を学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	2	○			○			○	
○			診療情報管理論Ⅰ	定義、情報管理の必要性、関連法規を理解。試験によって評価する。	1後	30	1		○		○			○	
○			診療情報管理論Ⅱ	管理部門のあり方、管理業務を学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	1		○		○			○	
○			国際疾病分類概論	国際疾病分類の意義と目的を理解し、コーディング・ガイドラインを学ぶ。試験によって評価する。	1後	30	1		○		○			○	
○			分類法演習Ⅰ	ICD-10疾患コーディング(初級)。試験によって評価する。	1後	30	1		○		○			○	
○			分類法演習Ⅱ	ICD-10疾患コーディング(中級)。試験によって評価する。	2前	30	1		○		○			○	

(医療専門課程医療ビジネス学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医師事務 作業補助者講 座	医師事務作業時補助者としての知識を理解し、即戦力を養う。試験によって評価する。	1前	30	1		○		○			○	
○			実習事前指導	接遇マナー、実習日誌の書き方を学ぶ。平常点によって評価する。	2前	30	2	○			○			○	
	○		Excel応用	Excelの有効活用方法を学ぶ。平常点によって評価する。	2後	30	1		○		○				○
	○		華道	院内環境整備のひとつである生け花を習得する。平常点によって評価する。	2後	30	1		○		○				○
	○		ペン字	バランスの取れたきれいな文字を身につける。平常点によって評価する。	2後	15	1	○			○				○
	○		医療事務論Ⅲ	診療報酬請求事務について学ぶ。平常点によって評価する。	2後	60	2		○		○			○	
	○		臨床医学各論Ⅱ -新生物-	人体のしくみ、機能、働きについて学ぶ。試験によって評価する。	2後	30	1		○		○				○
	○		臨床医学各論Ⅳ -脳神経・感覚器- (選択ABCD)	脳神経、感覚器の疾患における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	2後	30	1		○		○				○
	○		臨床医学各論Ⅶ -周産期-	妊娠、分娩、産褥における症状、検査、治療方法等について学ぶ。試験によって評価する。	2後	30	1		○		○				○
	○		医療管理各論Ⅱ	医療管理に必要とされる指標について理解する。試験によって評価する。	2後	30	1		○		○				○
	○		医療統計学	医学統計解析、医療統計、データの評価。試験によって評価する。	2後	30	2	○			○				○

(医療専門課程医療ビジネス学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		分類法演習Ⅲ	診断、治療行為のコーディング。試験によって評価する。	2後	30	1		○		○		○		
	○		病院実習	病院・診療所の基本的機能を理解する。実習病院による評価。	2前	90	2			○		○		○	○
	○		卒業研究	これまでの学習内容をより深く研究、理解し発表する。プレゼンテーションによって評価する。	2後	90	3			○		○		○	
	○		総合実習Ⅰ	業界から求められる、知識・技能を習得する。平常点によって評価する。	2後	##	5				○	○	○	○	○
	○		総合実習Ⅱ	業界から求められる、知識・技能を習得する。平常点によって評価する。	2後	##	4				○	○	○	○	○
	○		薬局実習	調剤薬局の基本的機能を理解する。実習調剤薬局による評価。	2前	90	2			○		○		○	○
		○	基礎学力対策	読み・書き・計算などの基礎を理解する。平常点によって評価する。	1前	15	1	○			○			○	
		○	講読Ⅲ	社会の仕組み、社会人としてのマナーを実際のな題材をもとに学習する。平常点によって評価する。	2後	15	1	○			○			○	
		○	海外研修	海外の医療情報について現地学習を行う。平常点によって評価する。	2後	45	1			○		○		○	
		○	Access	Accessの基本操作を学ぶ。平常点によって評価する。	2後	30	1			○		○		○	
		○	簿記	簿記に関する基礎知識を修得する。試験によって評価する。	1後	30	1			○		○		○	

(医療専門課程医療ビジネス学科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	調剤事務論Ⅰ	調剤報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	1後	60	2		○		○		○		
		○	調剤事務論Ⅱ	調剤報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	2前	30	1		○		○		○		
		○	歯科事務論Ⅰ	調剤報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	1後	60	4	○			○			○	
		○	歯科事務論Ⅱ	調剤報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	2前	15	1	○			○			○	
		○	介護事務論Ⅰ (選択ABC)	介護報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	1後	30	2	○			○			○	
		○	介護事務論Ⅱ	介護報酬請求事務について学ぶ。試験によって評価する。	2前	15	1	○			○			○	
		○	介助演習	介助技術を身につける。平常点によって評価する。	2後	30	1		○		○			○	

卒業要件及び履修方法

授業期間等

選択必修科目・自由選択科目のどれかを必ず選択し、履修することが、進級・卒業要件となり、進級・卒業認定は判定会議にて学校長が行う。

1学年の学期区分	2期
1学期の授業期間	26週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。